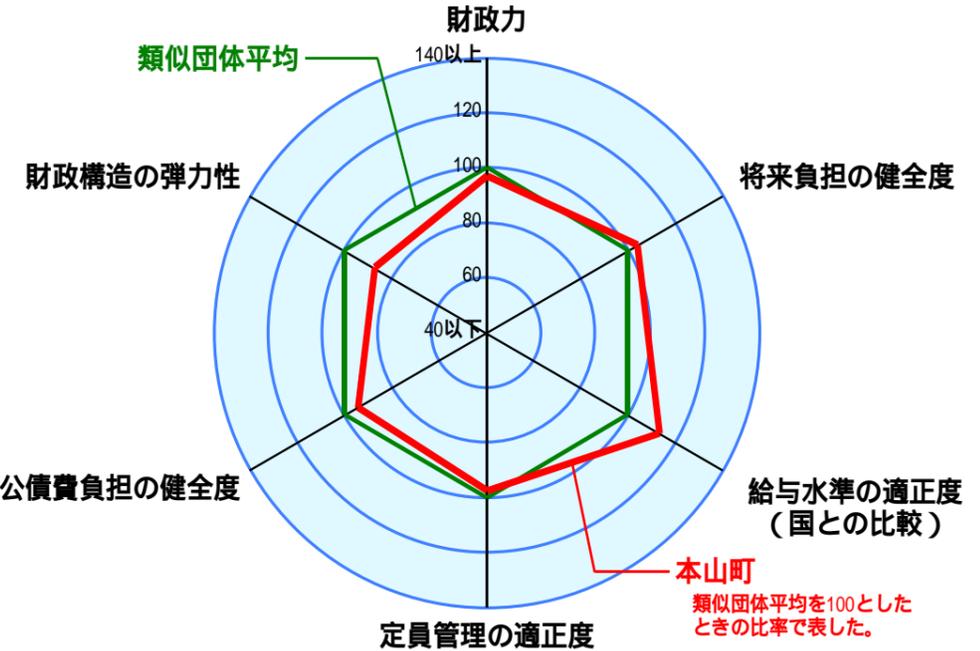
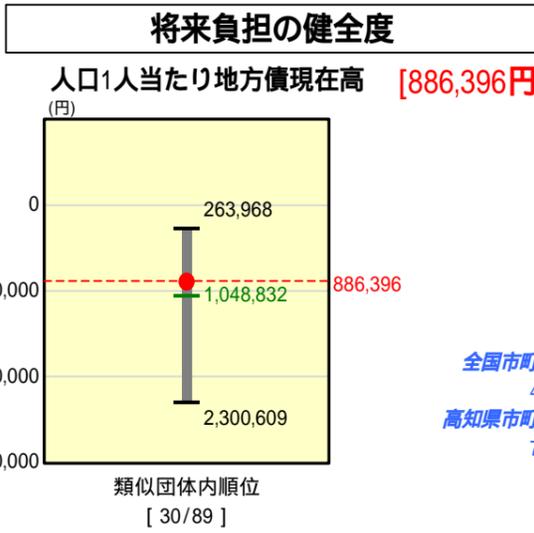
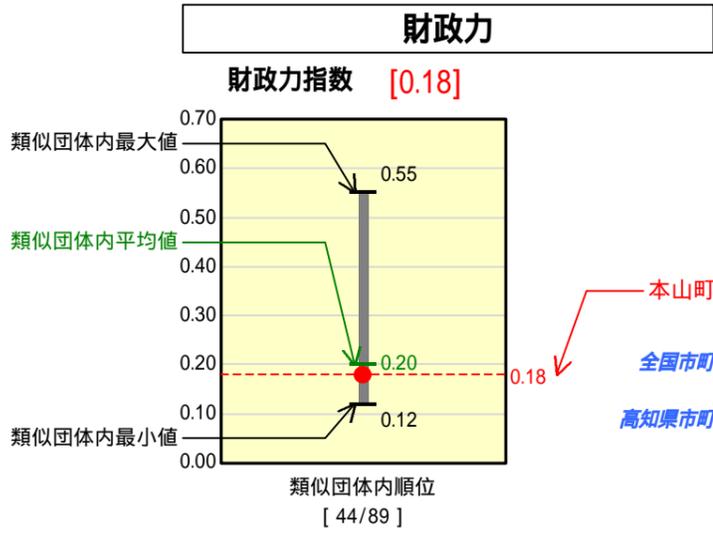


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 高知県 本山町

人口	4,266人(H17.3.31現在)
面積	134.21 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,119,340千円
歳出総額	3,083,006千円
実質収支	29,781千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
 ・人口の減少や全国平均を上回る高齢化率（16年度末38.0%）により財政基盤が弱く、また長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから、財政力指数は0.18と類似団体の平均値を下回っている。  
 ・組織の見直し（7課体制から1課減の6課体制）、退職者不補充による職員数の削減による人件費の削減（3年間で職員数10.7%の縮減）、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税収等の徴収率向上対策（専門職員の配置）を中心とする歳入確保に努める。

**【経常収支比率】**  
 ・公債費・補助費等の増加により経常収支比率は、99.8と類似団体の平均値を大きく上回っている。  
 ・投資事業の抑制、町立病院の経営改善等を行いながら、行財政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努める。

**【起債制限比率】**  
 ・普通建設事業に係る起債の償還に伴い、類似団体平均をやや上回っている。しかし、投資事業を大幅に抑制してきたことにより、元利償還金の増加は抑えられ、平成16年度をピークに減少に転じるため、起債制限比率は低下すると見込まれるが、今後とも新規発行の抑制に努めていく。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
 ・現在、類似団体平均を下回っている。投資事業を大幅に抑制してきたことにより、類似団体平均を上回ることがないと考える。

**【ラスパイレス指数】**  
 ・平成15年度から職員の給与カット（本俸6～10%カット）の実施により、ラスパイレス指数は88.7と類似団体の平均値を下回っている。  
 ・今後、年功的な要素が強い給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る。

**【人口1,000人あたり職員数】**  
 ・現在、退職者不補充により職員数の削減を行ってきたものの、類似団体の平均を上回っている。今後も退職者の補充を行わず、職員削減に努める。

